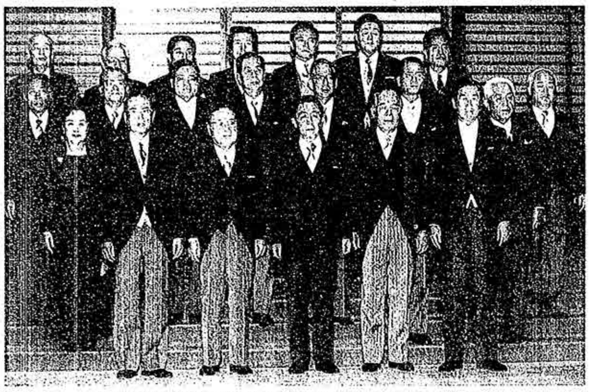
第2次橋本内閣発足



認証式を終え、宮殿・北車寄で記念写真に納まる橋本竜太郎首相（前列中央）と各閣僚＝7日午後9時53分

建設 亀井 農水 藤本 厚生 小泉氏

自民単独

派閥均衡も復活

第百三十八特別国会が七日召集され、橋本竜太郎自民党総裁(59)が第八十三代首相に再選された。首相は直ちに組閣作業を終え、皇居での任命・認証式を経て同日夜、第二次橋本内閣が発足した。自民単独内閣は三年三カ月ぶりだが、自民、社民、さきがけ三党が連立した第一次内閣と違い、社さ両党が閣外協力に転じて政権基盤が弱体化したため、首相は再選後に社さ両党党首と会談、引き続き連携する方針を確認した。

首相は組閣に際して「行財政改革」の推進を重視、行革担当の総務庁長官に武藤嘉文元総務会長、大蔵省改革を推進するため蔵相に三塚博前幹事長、公的介護制度導入など福祉・厚生行政改革を担当する厚相に経験者の小泉純一郎氏をそれぞれ起用した。

沖縄米軍基地問題の解決にも力点を置き、継続性の観点から梶山静六官房長官、池田行彦外相を再任、梶山氏を新たに沖縄問題担当とした。また、佐藤信二元運輸相を日米通商問題を所管する通産相に充てるなど緊急課題処理を優先し、旧派閥実力者らを配置した実務型内閣となった。同時に派閥均衡型でもあり、小泉厚相以外は旧派閥内の順送り人事となった。

衆院本会議の首相指名選挙で、橋本首相は自民のほか、社民、衆院会派「21世紀」、さきがけ、無所属の二百六十二票を獲得、第一回投票で過半数を制し再選を果たした。

ただ、社民党を除くと過半数ぎりぎりで、国会運営は厳しさを増す。さらに民主党とも個別政策ごとの協力の関係にとどまったことや、新進、共産両党が対決姿勢を強めることから首相は難しい政権運営を強いられよう。

閣僚のうち藤本孝雄農水相、堀之内久男郵政相、亀井静香建設相は再入閣。亀井氏は組織広報本部長として自社さ連携、選挙戦での活躍などを評価された。

女性閣僚は石井道子環境庁長官一人だった。新入閣は石井氏と松浦功法相、小杉隆文相、古賀誠運輸相、岡野裕労相、白川勝彦自治相、稲垣実男北海道、沖縄開発庁長官、久間章生防衛庁長官、麻生太郎経企庁長官、近岡理一郎科技庁長官、伊藤公介国土庁長官の計十一氏。

また懸案を抱える大蔵、外務、農水の各政務次官には初めて閣僚経験者を充て行革に向けた政治主導の姿勢を鮮明にした。

首相指名選挙結果

＜衆院＞	
投票総数	498
（過半数	250）
橋本竜太郎	262
小沢一郎	152
菅直人	52
不破哲三	26
土井たか子	3
無効	3
＜参院＞	
投票総数	248
（過半数	125）
橋本竜太郎	145
小沢一郎	68
不破哲三	14
菅直人	9
矢田部理	3
土井たか子	2
白票	7

第2次橋本内閣の顔ぶれ

1996年11月7日発足
丸数字は当選回数。（初）は初入閣、（再）は再任

総理	橋本竜太郎（はしもと りゅうたろう）	59	運輸相、党幹事長、蔵相、通産相、党総裁。慶大卒（旧小渕派）	衆⑫	岡山4区	
大蔵	三塚博（みつづか ひろし）	69	運輸相、通産相、外相、党政調会長、幹事長。早大卒（旧三塚派）	衆⑨	宮城3区	
法務（初）	松浦功（まつうら いさお）	73	自治次官、参院地行委長、参院党政審会長。東大卒（旧小渕派）	参③	比例	
外務（再）	池田行彦（いけだ ゆきひこ）	59	衆院大蔵委員長、総務庁長官、防衛庁長官。東大卒（旧宮沢派）	衆⑧	広島5区	
文部（初）	小杉隆（こすぎ たかし）	61	衆院環境委員長、党外交部会長、副幹事長。東大卒（旧渡辺派）	衆⑥	東京5区	
厚生	小泉純一郎（こいずみ じゅんいちろう）	54	衆院大蔵委員長、厚相、党副幹事長、郵政相。慶大卒（旧三塚派）	衆⑨	神奈川11区	
農水	藤本孝雄（ふじもと たかお）	65	沖縄開発庁長官、厚相、衆院懲罰委員長。東大卒（旧河本派）	衆⑩	香川1区	
通産	佐藤信二（さとう しんじ）	64	衆院商工委員長、運輸相、党財務委員長。慶大卒（旧小渕派）	衆⑦参①	山口2区	
運輸（初）	古賀誠（こが まこと）	56	衆院建設委員長、党総務局長、副幹事長。日大卒（旧宮沢派）	衆⑥	福岡7区	
郵政	堀之内久男（ほりのうち ひさお）	71	衆院農水委長、農相、党総合農政会長。海軍兵学校卒（旧渡辺派）	衆⑦	比例九州	
労働（初）	岡野裕（おかの ゆたか）	69	郵政省局長、参院内閣委員長、党副幹事長。京大卒（旧小渕派）	参③	比例	
建設	亀井静香（かめい しずか）	60	衆院農水委員長、運輸相、党組織広報本部長。東大卒（旧三塚派）	衆⑦	広島6区	
自治（初）	白川勝彦（しらかわ かつひこ）	51	郵政政務次官、衆院商工委員長、党総務局長。東大卒（旧宮沢派）	衆⑥	比例北信越	
官房（再）	梶山静六（かじやま せいろく）	70	自治相、通産相、法相、党国対委長、幹事長。日大卒（旧小渕派）	衆⑨	茨城4区	
総務	武藤嘉文（むとう かぶん）	69	農相、通産相、外相、党税調会長、総務会長。京大卒（旧渡辺派）	衆⑪	岐阜3区	
北海道沖縄（初）	稲垣実男（いながき じつお）	68	衆院社労、災害特別委員長、党政調副会長。早大卒（旧渡辺派）	衆⑦	比例東海	
防衛（初）	久間章生（きゅうま ふみお）	55	党調査局長、副幹事長、衆院大蔵委員長。東大卒（旧小渕派）	衆⑥	長崎2区	
経企（初）	麻生太郎（あそう たろう）	56	衆院石炭特別、外務委員長、党副幹事長。学習院大卒（旧宮沢派）	衆⑥	福岡8区	
科技（初）	近岡理一郎（ちかおか りいちろう）	70	厚生政務次官、衆院科技委員長。陸軍士官学校修了（旧小渕派）	衆⑥	山形3区	
環境（初）	石井道子（いしい みちこ）	63	県議、参院文教委員長、党女性局長。東京薬科大卒（旧宮沢派）	参③	比例	
国土（初）	伊藤公介（いとう こうすけ）	55	国土政務次官、衆院外務委長、党政調副会長。法大卒（旧三塚派）	衆⑥	東京23区	

文相は国立国会図書館連絡調整委員兼務。厚相は年金問題、運輸相は新東京国際空港、官房長官は沖縄問題、阪神・淡路復興対策、総務庁長官は行政改革、女性問題、経企庁長官は総合交通対策、環境庁長官は地球環境問題、国土庁長官は研究学園都市、土地対策、首都機能移転をそれぞれ担当する。

脱税で泉井容疑者逮捕

石油取引疑惑 三菱石油を捜索

東京地検

泉井純一容疑者

石油製品卸業「泉井石油商会」（大阪市北区）が三菱石油や三井鉱山との取引に介在し巨額の資金を得ていたとされる疑惑で、東京地検特捜部は七日、三年間に約六億六千万円の所得を隠し所得税約三億三千万円を脱税したとして、所得税法違反容疑で同商会を経営する泉井純一容疑者(60)＝大阪府豊中市緑丘＝を逮捕した。特捜部は三菱石油の要請で泉井石油商会に資金提供を行ったと主張している三井鉱山に対しても、東京都中央区の本社を八日に家宅捜索する方針とみられる。（39面に関連記事）

特捜部は七日、泉井石油商会事務所や泉井容疑者の自宅のほか、取引の実態を知っていた疑いがあるとみて、関連先として東京都港区の三菱石油本社や山田菊男会長や泉谷良彦社長、岸柾文副社長などの自宅、取引の担当者宅など十数カ所を家宅捜索した。

泉井容疑者は政官界を中心にスポーツ界など各方面に幅広い人脈を持つ一方で、石油取引の仲介手数料としては異常なほど高額の計五十七億円余の提供を受けたとされ、特捜部は脱税容疑での捜査を突破口に三菱石油を巻き込み、不透明な資金の流れの解明を進めるもようだ。

泉井容疑者が宴会などの日程を記録していた手帳に、政治家十六人や通産省など中央省庁の多数の官僚の名前が記録されていることも関係者の話で判明した。

調べによると、泉井容疑者は一九九二（平成四）年一月から九四年十二月までの三年間で、約六億六千万円の所得を隠し、所得税約三億三千万円を脱税した疑い。この三年間の収入は約四十億円に上り、大半は問題の石油取引などで得ていたとされる。

泉井容疑者は国税当局の調べなどに対して「（三菱石油などとの取引について）こちらから働き掛けたのではない」などと主張。「官僚らとは普通の付き合いで、何かを頼んだことはない」などと供述していたもようだ。

大阪国税局が十月三十日に泉井容疑者を所得税法違反の罪で大阪地検に告発。大阪地検は事件を東京地検に移送していた。

三井鉱山が三菱石油を相手に東京地裁に起こした民事訴訟資料や関係者の話によると、三井鉱山は泉井石油商会に対し、九三年から昨年までに仲介手数料などとして計約二十四億一千万円を提供。三井鉱山に対しては手数料分を上乗せした額を三菱石油が後日支払っていた。

三井鉱山は、同商会に提供した資金の返済などを受けていないとして、三菱石油に二十三億円余の支払いを求めている。これらは石油製品の転売を業者間で繰り返す「業者間転売（業転）」と呼ばれる取引の中で行われていた。

◇「天気」は2面に。

滴一滴

「燃えろ岡山」作文コンクールの入賞者が一昨日発表された。県内の中学生たちが「二十一世紀に向けて感動あふれる郷土岡山づくり」について提言した▼作文を読ませてもらった。最優秀賞の里庄中・田村沙織さんは地域連帯を深めたいと訴える。「みんなの木かげ」という本を読んで、近所づきあいの重要性に気付いたからだ。同書にはアパートにある大きなイチョウの木の下で、お年寄りも若者も子供たちもみんなが支え合って仲良く生活する様子が描かれていた▼今の自分は隣近所の人をほとんど知らない。あまりに寂しいと思った。私たちの代でイチョウの木を枯らしてはならない。そのために、祭りや運動会など地域の人が集える行事を増やし、触れ合いの町をつくろうと呼び掛ける▼優秀賞に選ばれた岡山大付属中・藤田曜子さんは県民総参加の祭典を提案し、岡山市東山中・永井愛子さんは出前福祉体験に参加して学んだ助け合いの大切さを素直に表現した。邑久中・森晴美さんは地元の伝統行事に魅せられ、後継者になりたいと記す▼中学生は受験勉強やクラブ活動に追われてゆとりがないといわれる。それでも地域への関心を高め、体験を通して得た感動や悩みをよりよい地域づくりへ生かそうとする姿勢に共感を覚えた。郷土に愛着を持つ中学生たちが頼もしい▼石井県知事が十二日に初登庁し、二十一世紀へ向けた新県政が始動する。強い指導力を発揮して、豊かな郷土づくりへ若い世代の夢を生かしてもらいたい。

政府広報
明日のあなたを考えて……
年金はあなたが主人公です。
―11月6日～12日は、年金週間です。―
●年金は、国民みんなが助け合いながら一人ひとりの将来を支えていくものなので、20歳になったら、だれもが国民年金に加入しなければなりません。国民年金に加入しないと、将来年金を受けられないことがあります。
●年金週間には、国民の皆様に年金を身近で大切なものとして考えていただくために、各地で年金相談やコンサートなどの諸行事が行われます。
●年金に関するお問い合せは、市区町村の国民年金担当窓口または社会保険事務所まで。
社会保険庁

山陽新聞

発行所
山陽新聞社
岡山市柳町2丁目1番23号
郵便番号 700　電話(086)
総務局231-2210　人事局233-8455
販売局231-2222　広告局231-2221
事業局233-2300　出版局233-8439
郵便振替口座　01230-4-5270

山陽新聞社新聞製作センター
岡山市新屋敷町1丁目1番18号
郵便番号 700　電話(086)
〈編集局〉　政治部244-3905
読者・解説委員室　244-3903　経済部244-3906
社会部244-3908　文化家庭部244-3911
運動部244-3913　写真部244-3915
〈メディア開発局〉244-3923

© 山陽新聞社 1996

私たちはお酒を作ることではメーカーですが生きるうえでは99％消費者です。
だから家族の口に入れさせたくないものは作りません。
嘉美心（カミココロ）酒造

きょうの紙面

第2次橋本内閣発足特集（2～5、7、8、11、13、38、39面と県版）
8、9面（国際）米主要閣僚が辞意表明
11面（経済）ロンドンで円一時111円
13面（地方経済）歳暮商戦本格スタート
26面（スポーツ）男子ゴルフ佐々木首位
27面（スポーツ）乱打戦制し全米4勝目
39面（社会）松本被告に「退廷命令」
14、15面（情報ひろば）
25面（家庭）
34～37面（地方）

赤ちゃんからシルバー・ご家族
お祝いの喜びをお写真に!!
記念写真専門
iPS
アイフォトスタジオ
☎086-271-3214
岡山市中区清水1-6-37

祝 成人
昭恵、成人おめでとう
笑顔に満ちた人生でありますように
父、母より　平成7年11月6日生まれ